



香川県議会で14日、加齢性難聴者の補聴器購入に国の支援を求める意見書が全会一致で可決されました。日本共産党など全会派が提出していました。

補聴器購入への公  
的助成の実現をめざ  
す「たかまつみみの  
会」の西田敏夫会長  
は「意見書の可決は

県議会 補聴器購入の公  
的支援求める意見書を全  
会一致で可決 かし県議の奮闘実る

香川県議会では14日、加齢 ことを求めています。

ことを求めています。

現在、身体障害に認定される以外の補聴器の購入には、国や県内自治体の支援制度はありません。

日本共産党の櫻昭二県議は意見書の可決を受け、「この4年間の一般質問など4回の論戦や民主団体とともに県と懇談するなど、加齢性難聴者への補聴器購入の公的助成を求めてきた。」

補聴器購入への公  
助成の実現をめざ  
す「たかまつみみの  
う」の西田敏夫会長  
は「意見書の可決は

## 観音寺市に要望書を提出

日本共産党観音寺市委員会と藤田均市議

す。

住民アンケートでは、不安がある」と答えた人が9割以上で、「暮らしに不安が多くゆとりもない」が57%で

はいが田舎の道路はなかなか直してくれない」「免許返納後、老後の暮らしどうするか」「耐震化工事の補助金は、比較的新しい住居用で、古い家には適用されない」など切実な声が寄せられていました。

信念を貫くこと！、例えば全盛期3500人会員がいた香川市民劇場、コロナ禍中は530名まで減ったが、関係者の努力によって660名まで回復し、丸亀市民劇場設立も見えてきた。夢に向かっていきながらも諦めない姿勢、これぞロックンロールでは！（ち）

また、暮らしの実感や不安について「運転でなければ買い物難民。最寄りの店舗が撤退していく、本屋のない都市って良いのですか」「父(75)が体調不良で仕事を辞めたが、年金だけで生活できない」「国道

「虞美人草」を、マキノソミが昭和の高度成長末期一九七三年を舞台に翻案した青年群像劇である。

原作では「真面目になると当人が助かるばかりじゃなく、世の中が助かる」という名言が山場となるが、徳義心に欠く女性を追いつ詰める悲劇の結末に思想的な限界と

に補助が出るまで全力で運動に取り組みたい」と語りました。

香川市民劇場の十一月例会は、明治維新後の近代国家をめざす日本人の在り方を描いた夏目漱石の

民主香川

定価 月 100円  
発行所  
**民主香川社**  
高松市藤塚町  
3丁目13-14  
☎(087)834-7311

昭和48年5月29日第三種郵便物承認 **民主香川** 2025年10月26日 第2040号 毎月1・3・4日曜日発行 **4**

性暴力の根絶を求めて  
商店街でフラワーデモ

参加した70代女性は「性暴力は女性だけの問題でなく、社会全体の問題だ」と述べました

デモ@香川は11月で性被害当事者の性暴力の根絶を求めてサイレントスタンディングをしました。

60代男性は「デモの参加は3回目。参加するのはとても勇気が必要で、宣伝は恥ずかしかったが、差別や性暴力をこれ以上増やさないために自分が逃げてはならないと考えた」と話しました。



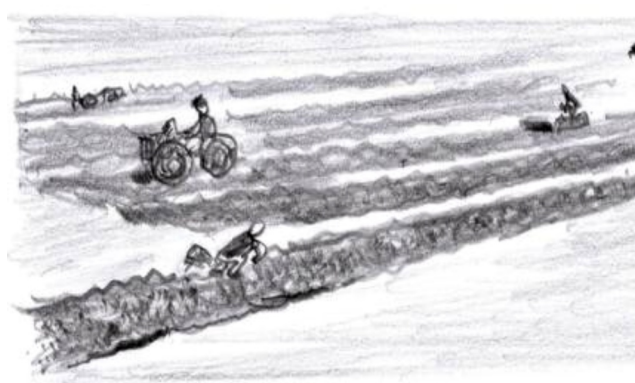
み、藤沢やよいの両高松市議が参加しました。

岡田氏は「日本では声を上げた被害者が何重にも加害を受ける場合すらある。だからこそ、性暴力を許さないと政治や社会全体の世論を大きく変えていく必要がある」と語りました。



沙漠のブドウ

十八年前、十月中旬に中国の敦煌を旅した。高松から西安へ直行便で四時間、更に小型ジェット機で二時間、合計三千五百<sup>キ</sup>を飛ぶ。緯度は北海道と同じだ。敦煌と言えばシルクロード。NHKテレビで放映され喜多郎の名曲が一世を風靡した。井上靖の小説「敦煌」が映画化され、現地に城壁を作つて撮影された。ホテルに二泊し、戈壁沙漠を大型バスで終めぐつた。万里の長城の西の端に達し、国境の関所、玉門関を訪ねた。陽関へ行った時のことである。バスは戈壁砂漠の固い砂の上を猛スピードでぶつ飛ばす。陽が昇り、地平線が霞み、蜃気楼が出る。ガタガタ揺れて水筒の水が唇からこぼれる。変化のない景色に眠くなる。遠くに緑色が見えた。砂漠に緑？ 近づいて分かつた。干しブドウだ。長大な緑のジュー



タンが五、六列、地平線と並行に広がっている。

昼食のため、バスはポプラ並木に停まった。古い農家に入るとカラフルな内装のレストラン。若い娘さんが料理を運び、丸テーブルに野菜料理が並んだ。どれも油が少なく薄味だ。主食はうどん！野菜スープをかけて食べた。

テラスに出た。ブドウ棚が



らシャワーのように緑が降っている。房は巨大で長く、つ  
ぶつぶの数が多い。  
ゴビ砂漠のオアシスはブドウ  
の産地であつた。  
唐の時代、涼州と呼ばれた。  
出征すれば生きては帰れぬ辺  
境の地、戦場であつた。そこ  
には葡萄酒があつた。  
広大な砂漠を見渡す丘陵に  
漢詩の碑が建つていた。  
涼州詩 王翰  
葡萄酒 夜光の杯……  
古来 征戦 幾人が回る

詩の碑が建っていた。  
涼州詩 王翰  
葡萄の美酒 夜光の杯……  
古来 征戦 幾人が回る

讃岐うどんを食べる。ふと  
オアシスの農家を思う。砂漠  
に広がる緑のシュートンがま  
ぶたに浮かぶ。

太鼓台昇

た青年群像劇である。

原作では「真面目になると当人が助かるばかりじゃなく、世の中が助かる」という名言が山場となるが、徳義心に欠く女性を追いつめる悲劇の結末に思想的な限界と時代感覚の違いを感じる。

「昭和眞美人草」では、原作のキーワードを実直なロック世代の感性に消化することで「愛こそはすべて」「そいつはロックじゃないぜ!」といった前向きなメッセージが、現代にも通じて潑刺と響く。

「はて、ロックとは?」対抗文化! 信念を貫くこと!、例えば全盛期3500人会員がいた香川市民劇場、コロナ禍中は530名まで減ったが、関係者の努力によって660名まで回復し、丸亀市民劇場設立も見えてきた。夢に向かっていきながらも諦めない姿勢、これぞロックンロールでは! (ち)